

日産CUP争奪 第53回神奈川県少年少女サッカー選手権 競技規則

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会「2025/26サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。
よって、本大会は2026/27新ルールは適用しない。
但し、以下の項目については、本大会用として大会規定を定め優先する。

競技のフィールド

- (1) 縦68m、横50mを基本とする。ただし、ピッチサイズは、グラウンドの事情において設定してもよい。

競技時間

- (1) 40分（前後半各20分）とし、ハーフタイムのインターバルは5分を超えないものとする。
 - (2) PK戦（ペナルティシュートアウト）に入る前のインターバルは1分を超えないものとする。
- 以下は、中央大会時に適用とする。
- (3) 決勝戦において同点の場合は、10分（5分ハーフ）の延長戦を行う。
 - (4) 延長戦に入る前のインターバルは5分、PK戦（ペナルティシュートアウト）に入る前のインターバルは1分を超えないものとする。
 - (5) アディショナルタイムの表示は準決勝から行う。

競技方法

- (1) トーナメント方式とする。

勝敗の決定

- (1) 規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、出場中の競技者3名によるPK戦（ペナルティシュートアウト）で勝利チームを決定する。3名によるPK戦（ペナルティシュートアウト）で決しない場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまでキックは続けられる。
- 以下は、中央大会時に適用とする。
- (2) 決勝戦で同点の場合は延長戦を行い、なお決しない場合は出場中の競技者3名によるPK戦（ペナルティシュートアウト）で決する。3名によるPK戦（ペナルティシュートアウト）で決しない場合は、4人目以降、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで行う。

競技者の数

- (1) 8名（試合開始時刻に間に合わない場合または試合開始時に8名に満たない場合は試合を行わず、公式記録を0-3として敗戦とする。）
試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
ただし、6名に満たなくなった場合は試合を中止とし、棄権とする。
- (2) 交代要員の数は12名以内とし、交代を行うことが出来る数は制限しない。
（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することが出来る。）

ベンチ入り人数

- (1) ベンチ入りするチーム役員は2名以上3名を超えないこと。（ただし、開催要綱の参加資格(5)に準ずること）
- (2) 交代要員は12名以内とし、両チームのユニフォームと異なる色のビブスを着用する。

交代について

- (1) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- (2) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
交代は自由な交代を適用する。ただしゴールキーパーの交代は、ボールがアウトオブプレーになった時に主審に通知し主審の許可を得て交代を行う。
- (3) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上で一番近い場所からフィールド外に出てもよい。

反則と不正行為について

- (1) 本大会は（公財）日本サッカー協会懲罰規程に則り、大会規律委員会を設ける。
委員長は、（一社）神奈川県サッカー協会第4種少年少女部会長とし、委員については委員長が決定する。
- (2) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- (3) 警告・累積
地区大会 警告、退場に関してはその試合のみとし、累積はなしとする。
選手が退場を命じられた場合は、その選手のチームは交代要員の中から選手を補充することができる。
主審は、その間は試合を停止する。
中央大会 警告を累積2回受けた選手・チーム役員は、次の1試合に出場できない。
退場を命じられた選手・チーム役員は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置は大会規律委員会で決定する。
- (4) 参加資格の違反やその他の不都合な行為があった場合は、当該チームの出場停止あるいは当該チームの参加した試合を没収試合（公式記録は0-3の負け）とする。以降の処分は大会規律委員会の指示によるものとする。

審判員

地区大会

- (1) 各チーム2名の公認審判員（審判服・ワッペン着用）を帯同する。
- (2) 1回戦より、3人制審判で実施する。割当てについては会場担当にて決定する。
- (3) 試合開始10分前に本部に集合し打合せを実施する。顔写真付きの審判証を本部へ提示する(スマホやPC等の画面での提示可)。
- (4) 電子ホイッスルは音量の観点から使用せず、笛を吹くこと。

中央大会

- (1) 1回戦より、1人制審判で実施する。審判主審は（一社）神奈川県サッカー協会審判部会派遣の審判員で行う。

マッチウエルフェアオフィサーの配置

- (1) 暴力・暴言・差別を排除し、安心・安全な環境づくりの一環としてマッチウエルフェアオフィサーを配置することがある。
気づきがあった場合は当該チームまたはチーム役員に対して気づきを報告する場合がある。

その他

- (1) キックオフからの直接ゴールインは得点と認めず、相手チームのゴールキックで再開する。
- (2) 「スローインおよびゴールキック時のカウントダウン」「制限時間付き交代」および「競技者が負傷または治療を受けた場合あるいは負傷によりプレーが停止された場合のペナルティタイム」は適用しない。
- (3) PK戦（ペナルティシュートアウト）になった場合、主審の指示によりチーム役員1名がピッチ内外で指示を与えることを認める。
- (4) 負傷者の対応は主審が認めた場合のみ、最大2名のピッチへの入場を許可する。
- (5) 選手の健康、安全を最優先として、雷、突風、大雨等の天候不良の場合は適切な判断で対応する。
（途中中断で再開できる場合）試合時間の残り時間とする。
（途中中断で再開できない場合）その時点でのスコアで試合成立とする。なお同点の場合は抽選とする。
再開、中止の決定は会場責任者及び、審判で決定し、抽選の方法は（一社）神奈川県サッカー協会で決定する。